

防災訓練を通して地域とつながろう

東京消防庁では、防災訓練を通して「地域の様々な団体が、災害時の初期消火や救出救助などで協力し合う関係性を構築する」ための取組を進めています。有事の際に消防だけですべての災害に対応することはできません。しかし、皆さん1人ひとりが災害への備えをするだけでなく、地域の住民やそこで働く・学ぶ人たちが協力して災害に対応することができれば、災害による被害を減らすことができます。

バケツリレーによる消火や、がれきに挟まれた人の救出など、一人では無理なことでも、多くの人が協力することで対応できることはたくさんあります。

この機会に家族や近所の方、職場の方などと「共助」について考えてみましょう。



マンション防災訓練

地震後のマンションではこんなことが
起こるかもしれません!

東京都内では、約900万人の方がマンション等に居住しています。このような東京都の地域特性を踏まえ、マンションの防災対策を講じてもらうため、東京消防庁では、マンション居住者に訓練などを通じて防災意識の啓発を行い、防災行動力の向上を図っています。



詳しくはこちら



火事

故障や停電で消火設備や警報設備が作動しない

対策

各家庭で消火器を備え、いざという時に使えるように、防災訓練に参加しましょう。

ケガ

エレベーターが停止し、ケガ人を地上まで運ぶのが困難になる

対策

家具転倒対策でケガを防ぎましょう。マンション全体で応急手当や担架の使い方を学びましょう。

閉じ込め

防音性が高いので、助けを呼んでも聞こえない

対策

家具や家電が転倒しないよう固定する。転倒してもドアを塞がないレイアウトにする。居住者間で安否確認できる仕組みを作りましょう。



9月9日は救急の日

令和6年中の救急出場件数は、935,373件となり、3年連続で過去最多を更新し、令和元年と比較して約10万件増加しました。

救急車の出場が増加すると、遠い場所から救急車が出場することになります。救急車到着までの時間が延びると、**命が助かる可能性が低下**してしまいます。必要な時に迅速に救急車を利用できるように、**ためらわずに救急車を呼ぶべき症状**を参考にしてください。救急車を呼ぶか、病院へ行くか迷った場合には、インターネットから東京版救急受診ガイドを検索するか、電話で「#7119」東京消防庁救急相談センターへ相談してください。



ためらわずに 救急車を呼ぶべき症状

緊急性が高いと判断したら、迷わず119番通報!!

こども(15歳以下)

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しう
- 呼吸が弱い

手・足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

高齢者

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立てられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おとな

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る